

### 第3回 倉敷市水道事業経営審議会会議録

1 日 時 令和2年2月12日（水）14時00分～14時50分

2 場 所 水道局3階大会議室

3 出席者 出席委員11名

戸前会長，鴨井副会長，小田委員，近藤委員，武則委員，原田委員，

藤原佐委員，藤原義委員，森田委員，山野委員，山部委員

事務局10名

古谷水道事業管理者，松本参事，池田課長，吉富課長，今井課長，森兼課長，

小河原室長，鷲尾課長補佐，藤田係長，三垣副主任

#### 4 会 議

##### (1) 審議

##### 1 令和2年度当初予算（案）について

##### <質疑>

委 員 資料1ページ「給水戸数」について，令和元年度予算と比べて増えていますが，増加の要因は何ですか。

事務局 給水戸数が令和元年度に比べて4，577戸増加していますが，行政人口が横ばいの状況の中で給水戸数が増えているのは，世帯が単身世帯に別れたために給水戸数が増加していると考えられ，これが主な要因と考えられます。

委 員 そのため，年間給水量は逆にマイナスになっているということでしょうか。

事務局 そうです。

##### 2 節水を呼び掛けるための標語について

##### <質疑>

委 員 資料4ページ「懸垂幕の設置」について，設置する条件として「ダムの貯水率が40%を下回り」となっていますが，懸垂幕はダム貯水率40%を下回らないと掲げられないのですか。

事務局 はい。渇水に対する行動指針にそのように定められています。40%を下回った

場合は懸垂幕を掲げ、その他にも広報車による広報なども行います。

委員 そのために、予め懸垂幕を用意するということですね。

事務局 はい。いつ渇水が起こるか分かりませんので、予め用意しておく必要があります。

委員 懸垂幕の作成費用はいくらかかりますか。

事務局 懸垂幕を作成した他部署の話では、1枚あたり作成当時約2万円の費用であったと聞いています。

委員 水道局には既に「ムダなく使おう大切な水」という懸垂幕がありますが、これは使用したことがありますか。

事務局 平成20年の渇水時に懸垂幕を掲げた実績があります。資料4ページの写真はその当時の記録写真です。

委員 懸垂幕は、渇水時のダム貯水率が40%を下回った時だけでなく、日頃から掲げておくことはできないのですか。

事務局 それは可能です。

委員 今ある懸垂幕の標語「ムダなく使おう大切な水」は、平成20年に使用したということでしたが、1つの懸垂幕の標語は何年位使用するものですか。

事務局 特に使用年数は定めておりません。今ある懸垂幕はまだ使用できますので、今後とも使用していきたいと考えております。しかし、真備・船穂・庄・茶屋町の4支所には節水を呼び掛けるための懸垂幕はないため、今回新たな標語で作成することとなった次第です。

委員 今年は、県北の方で雪不足と言われていますが、今まで雪が少なかった年に、水不足が発生したことはありますか。

事務局 平成6年に全国的に大渇水があり、その時には断水がありましたが、それ以降については、暖冬と言われた年でも断水に至ることはありませんでした。しかし、今年の暖冬については、今までの暖冬と極端に違うようなので予測が付きません。

委員 新しく標語を作成したので、平時から懸垂幕を掲げた方が良いのではないかと思います。

事務局 ありがとうございます。

委員 昨年、和歌山市で水道管の漏水修繕工事のために大規模断水になると報道されていきました。結果的には小さい水道管からの漏水だったため大事には至りませんでした。

たが、今回の状況を私達の身に置きかえて考えた時に、急に給水を絶たれると困る、これは他人事ではないと感じました。今回のような漏水個所を見つける方法は、どのような方法で見つけるのでしょうか。また、それは難しいことでしょうか。

事務局 和歌山市の水道管漏水修繕工事のための大規模断水報道に市民が大きく混乱したという事例ですが、倉敷市においても同様なことが起こりうる可能性はあります。水道管は土の中に埋まっているので、漏水箇所は掘ってみないと分からないということがあります。和歌山市の事例では、800ミリの基幹となる大きな管に漏水の疑いがあり、これを止めて修繕工事を行うと大規模断水になるということで、事前に広報がされました。結果的には、基幹となる管の横から出ている150ミリの枝管の漏水であったことが判明し、大規模断水は回避されました。ご質問の漏水個所を見つける方法ですが、やはり掘って管の損傷を確認することしかできません。和歌山市のような事例が、倉敷市においても起こる可能性はありますが、水道局としてはそのようなことがないように日頃から漏水調査を行っております。地中の音を聞くことができる特殊な装置を使い、漏水している箇所がないか市内を隈なく歩いて調査を行っています。また、古い水道管を新しい水道管に替えて、突如な漏水や断水が起こらないように耐震化工事を進めていますのでよろしくお願ひします。

(2) その他について

事務局 今後の審議会の日程について、次回審議会を6月か7月頃に予定しています。日時については後日調整して連絡します。

令和2年2月29日

代表署名人

戸前 壽夫 